

文化映画紹介

どうして盗まれる？個人情報
大丈夫ですか？高速道路の落下物
短編映画

渡部 実

「どうして盗まれる？個人情報」ネット・トラブルに巻き込まれない秘訣〜

「スタッフ」企画・制作統括／高木裕己 脚本・演出／川崎けい子 撮影／照屋真治 イラスト・CG／正者章子 ナレーター／松本寛子 監修／草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会常務理事・吉岡良平 制作・著作／映学社 完成／17年 DVD作品・24分

「内容」今回は私たち市民が日常生活で直面するさまざまな問題をリアルタイムで取り上げ、その問題点と対処方法を平明で分かりやすい作り方で描き、観客に諸問題における理解を促進させる注目を発表している映学社の短編映

画を紹介したい。まず初めはパソコンにまつわる諸問題を訴えた作品である。副題は「ネット・トラブルに巻き込まれない秘訣」。年代や職業によっても差はあれどパソコンやスマートフォンを利用している人はかなりの数に上る。個人単位でのコミュニケーションはおろか、操作ひとつで世界中から情報を得られる利便性も見逃せない。映画の冒頭はさやかという女性、彼女の女友達からきた電話に当人は驚いたという。それは以前さやかが付き合っていた健司が別れた腹いせにさやかの写真をはじめとするプライベートな事柄をSNSに不正にアップセスし、いやがらせの書き込みをしたという例である。

インターネットには毎日、利用する人の膨大な個人情報が行き交っているが、しかし、それらは他人に知られてはいけないものである。そこで映画は個人情報を守る手段としてIDとパスワードの重要性に言及、特にパスワードは必要以外に他人に絶対に教えてはいけないと述べる。その個人情報の管理というところが、なかなか難しい。使用者本人の日頃の心掛け次第なのだ

が、注意をしても悪意ある他人によって個人情報は利用されてしまう。ネットバンキングの利用者がある日、自分の残高を見てみると何故か0円という表示があった。フィッシング詐欺、スマホアップリのダウンロード、なりすまし

しによる被害など、たいがいの利用者には未知の問題が提示されていく。それらに対して映画の監修者は予防方法を語ってくれる。それにしても市民を取り巻く情報環境は日ごとにその速さを増しているようである。スマホの次にメインパーソナルカードの使い方にも注意が必要だと説明される。このカードの使用者には身分証明書の役割を速やかに果たしてくれるなど利点もある一方、メインパーソナルカードの個人番号を不正な利益を図る目的で提供、または盗用することは違法とされる。しかし、違法になることを逆手にとった詐欺が全国で発生しているという。すなわち何かのきっかけで利用者の個人番号が漏

洩した恐れのある場合、すぐに役所に届け出ることが必要だという。パソコンのパスワードとメインパーソナルカードの個人情報悪用される可能性があるのが管理は慎重にしなければならぬ。この映画は17年の製作であるが、現在も利用者にとって重要な情報管理の基本といったものを、誰にでも理解できるように作られた作品となっている。

「大丈夫ですか？高速道路の落下物」事故の誘発者にならない心がまえ〜

「スタッフ」企画・制作統括・高木裕己 脚本・演出／細見吉夫 撮影／渡邊忍 制作／北西洋一 監修／安全教育研究所所長・星忠通 協力／東日本高速道路(株)、関東管

区警察局広域調整部岩槻高速道路管理室、埼玉県警察本部交通部高速道路交通警察隊、一般社団法人埼玉トラック協会、埼玉県トラック総合教育センター 制作・著作／映学社 完成／18年 DVD作品・18分

「内容」続く「大丈夫ですか？高速道路の落下物」はネット問題以上に直接、人命にかかわる重大事故——高速道路での事故についての作品である。高速道路とは普通、自家用車などを利用することのない人には、身近な交通路ではない気がする。けれど高速道路によつて日夜、生鮮食品などが運ばれることを思えば、この道路の重要性も納得できるであろう。この映画は近年、特に増加しているといわれる車

からの落下物による重大事故に焦点をあてた内容になっている。年間に全国では36万件にも及ぶ各種落下物が報告されている。1日あたり約986件。布・プラスチック類、自動車部品、木材類がその多くを占める。およそ90秒に一件の割合で車から何か落ちているという計算になる。一般道路でも危ないのに、まし

から高速道路となると危険は何倍にもなるであろう。そこで映画はあるトラックドライバーによって引き起こされた玉突き事故を例にとり、事故の原因を検証、事故を防止するポイントなどを提示している。

まず、基本となるのは、追突事故を防ぐ際に車と車の間、車間距離の取り方である。画面はCG画像でどの程度の車間距離を保てば安全なのかを解説、車間距離の確認方法も説明している。運転手が注意していても事故はさまざま原因から起きる。積み荷を落としたり、落下物を発見した時は、まずは安全な場所に車を止めて道路緊急ダイヤル#9910に通報する。この時大切なことは、道路上でドライバーが落下物を取りに行くことは絶対にしてはならないということだ。落下物の情報は即座に道路管制センターを通して高速道路の掲示板に表示され、パトロールカーが現場に急行し除去を行う。後続の車の運転手にとって恐ろし



「どうして盗まれる？個人情報〜ネット・トラブルに巻き込まれない秘訣〜」



「大丈夫ですか？高速道路の落下物〜事故の誘発者にならない心がまえ〜」

いのは、布類やプラスチック類は重量が軽いため、風圧で簡単に飛ばされてしまうことだ。一方、木材類は大きくて重たいから簡単には飛ばないだろうというドライバーの先人観から、しっかりと固定されていない場合に多く落下するといふ。そこで飛散防止装置をセットするのも重要なことである。映画は終わり近くに積み荷の積み方によつてロープが緩んだり、積み荷のバランスが崩れて落下するという実験映像までを見せる。また、ロケーション場面は実際にカメラが高速道路内に入り、かなりのスピードで走る車の側で交通警察隊の整理の仕事などを取材する貴重な場面も紹介している。高速道路の事故は一般人の生活にとつてさほど身近なものではないが、このような多角的な視点から描かれると、その危険性と事故防止にも注意を喚起させられる、力を持った作品と言える。

（問合せ先）映学社 TEL 03-33359-9729